

クリスタルプロジェクト

ゆら（5歳）

Stage0-2

「これまでのプロセス」

1) 産まれる前のこと

24歳のとき。

たくさん遊んだし、したいことはしたし、自分を高めるために、
新たな自分をあらわしていくために、先に進もうと思いました。

同時に、そろそろ子どもが欲しいなと思っていました。

お母さんがしてみたい！、楽しそう！！、なにかが変わる！！と。

妊娠前からだんだん、興味が地球環境や自然な食と暮らしに向いていっていました。

少しずつ、自分が落ち着いてまあるくなっているようでした。

妊娠の半年すこし前、いままでにない、とても神聖でやわらかくてやさしい、

愛の波動に包まれたことがありました。

自分のなかに、母性が目覚めたかのような感覚に、

妊娠したかも！？と、思ったほど。

妊娠の数ヶ月前に、同じような感覚があつたという話を聞くことがあります。

赤ちゃんがお腹にはいる前に、ほんとうに来ていたのでしよう。

妊娠中は、楽しくて楽しくて、いつもおなか触って話しかけていました。

普通に神聖で、感覚が研ぎすまされて、独特の美しさと力が備わるのは、

クリスタルの子どもを宿しているからだなあ、と思います。

娘とずっと一緒にいるという感覚で、ゆらゆらと過ごさせてくれたようです。

2) 産まれた時のこと

自宅出産で、この日に産まれるだろう、という日の朝陣痛が始まりました。
娘と、ばばとままと助産婦さんと、みんなのちからがあつて産まれてきた、という感じで、
穏やかで感慨深い、まさにいいお産の日（11月3日）でした。

不思議と落ち着いていて、高く神聖な力が顕現しているような気がしていました。

わたしも、日常から離れて、その意識の中にとどまっていた。

みんな静かにしておいて、、、と。

赤ちゃんがいた向こうの世界と繋がっていたいと、この空気感を大切にしたいと望みました。

はじめての赤ちゃん、意識がしつかりしているのにびっくりしました。

覚醒している時間があり、その時ははつきりと伝わり合っているという感覚で、

そうではない、「赤ちゃん」でいるときとはつきり違いました。

産まれた時から、見えているし分かっている、ちゃんと意識がある、としか思えませんでした。

あまりに可愛くて、わたしもばばも、わたしの両親も、意識が100%ゆらに向いていました。

3) 産まれてからのこと

どこかをじつと見ていたり、私たちには見えない何かを見て、お話していたようです。

二ヶ月ころには、おっぱいとか、言葉のような音を発してしました。

ずっと抱っこして、いつも一緒に、まわりのみんなにも大切にされて、育っていきました。

わたしは仕事も辞めて、物作りも辞めて、子育てと家事に専念して。

よく泣き、よく甘えるけれど、こころが優しく、まわりを微笑ませることが多く、

不思議なちからがあるなあ、と思っていました。

何かに見守られている感じです。

みんなのことを思いやり、いつも一生懸命生きていて、起こっていることをよく観察していて、どうするか自分で考える、その姿勢に学ぶことが多く、子供離れしているとびつくりすると同時に、とつても純粹だと感じる場所があります。

4) その後のプロセスなど

ゆらにとつて一番大きかったのは、妹ができたこと。
ちょうど三歳になった時で、気持ちがゆれ動いていました。
それを乗り越えて、ぐんとしつかりしました。

もうひとつは、幼稚園に行かず自主保育に通っていた時のこと。
強さを身につけたけれど、子供たちと合わなくて、
自らはつきり辞めると決断しました。
いつもはゆらゆらしているけれど、意志の強さを垣間みました。

あちこち行って、たくさん体験して、それが身になって、
のびやかに生きているゆらは、特にスピリチュアルなこととか話さないけれど、
感覚が自然にあるのかなとも思います。

そして、あまりに自然でいて最も大きな変容とワークは、
2010年5月の伊勢神宮での神事の時。
雨のなか黙々と歩いて、参拝を終えたときには、
とつても軽やかにクリスタルそのもののようなエネルギーで、
うれしそうに歌いながらにこにこしていました。

クリスタルプロジェクトに参加して、
メンバーのみんなといるときは、とつても自然体で、
素の輝きをだしていただけるから、とてもうれしそうです。
そして、みんなのことが大好きです。

セミナー中も、場のエネルギーを感じながら、よく絵を描いています。

◎ゆらに聞いてみました。(4歳のとき)

1)産まれてから今までに、覚えている、大事なことは?

工作することお絵描きすること寝たくないこと。

2)産まれる前のことで、覚えている大事なことは?

ママのおなかにいたこと。真っ白な雪の世界にいたこと。

光のところ?光の世界のこと? そう。

◎ハイアーに聞いてみました。

ひかりのくににいて、そのひかりをもってきたんだよ。

みんながわらってられるように。

みんなももってる、そのひかりがあれば、たのしいせかいになるでしょ。

ゆらはいつもしあわせよ。

あつたかいきもちがだいじ。

やさしいところがだいじ。

ちゃんとみてたら、ちゃんとつたわるの。

おんなのこだから、きらきらしててかわいいのがすき。

みんなのことがすき。

みんながたのしくなるのがうれしい。

すき!つていうのがだいじなのよ。

ゆらはよく、気の向くまま自由に歌って踊っていて、
それがとってもかわいくて、このままその、クリスタルの輝きそのままに、
おつきくなつてほしいなあ、と思います。

みんなの前でもピュアな自分の輝きをだしていただけるように。

そして、まわりのみんなを変えていってほしいです。

リタ ゆら

2010.9.25

